

天賞堂のカンタム搭載製品は今年で**10周年!**

製品ラインナップ
もさらに充実です!

2006年の「D51形半流」から始まった天賞堂&カンタムの歴史も今年で10年。15シリーズ10形式(真鍮製品を含む)を数えます。節目の今年「C61形」が登場!さらなるラインナップの拡充とその「進化と深化」にご期待ください!

● DD51形(2007年)



● EF66形0番代(2013年)

● C62形(2014年)

● キハ52形0番代(2012年)



教えて!! カンタム・システム

CHECK!!

Question 1 再 現されている音はどこからくるの…?!
再 答: 音源は実物実機から収録したものです。模型本体に搭載されたスピーカーから機体にあわせて最適にプログラムを施されたサウンドが再生されます。つまり停車中や走行中、加減速…あらゆる状況にあわせてサウンドの再生がなされるのです。

Question 2 「停 車」しているのにライトが点灯している…?!
答: パワーバックから給電されている状況であっても走り出しません。これがカンタム搭載モデルの「妙味」のひとつです。「起動(停止)モード」と「走行モード」を設けることによって「停車」を経て走行を始めるという流れを再現しています。給電をしてもカンタム・システムが「停車」を判断してモーターに給電をせず、以外の灯火・サウンドに給電をしているので停車していてもライト点灯(前照灯・尾灯・室内灯)・サウンド再現がなされているのです。「カンタム・システム」は人体でいうところの「頭脳」。「脳」を搭載した模型なのです。

Question 3 特 別なコントローラーや設備が必要な…?!
答: ふつうのパワーバックで運転操作ができます。DCC(デジタル・コマンド・コントロール)のように特別な制御機器類は要りません。通常の直流2線式パワーバックでリアルな音と動きが楽しめるのです。
※容量の小さいものや特殊な電流を使用しているものなど、使用できないパワーバックもあります。またカンタム・システム搭載車はDCCでも運転できます。

Question 4 い きなりスピードがあがらないのはどうして…?!
い 答: ゆっくりと滑らかに加速するようにモーターに電気を供給しているからです。加速・惰行・減速といった動きの変化に呼応して音質や音量が変わります。「頭脳」となるカンタム・システムがその状況を判断して考えて的確に指令を送っているのです。

Question 5 さ まざまなギミックを操作するには…?!
さ 答: 専用キーボードを使えばさらにリアルな制御が可能です。カンタム・システム専用の多機能コントローラー『カンタム・エンジニア』を加えると、灯火類のON/OFFや音量調整、連結器音やブロー音等、様々な搭載ギミックを任意に呼び出し操作ができます。またプログラム設定の変更もおこなえます。『カンタム・エンジニア』はすべてのカンタム・システム搭載車に対して共通して機能しますので「あると便利」な必須の制御機器といえます。

! カンタム・システム搭載車と非搭載車を混結して走行させることはできません。前述のとおり、カンタム・システム搭載車は従来の車輌とはその動作がおおきく異なるからです。既存の非搭載車に「後付け」することもできません。またDCCのような「機体(車輌)を指定」してギミックを操作する「個別操作」はできません。

正常に動かない? プログラムがおかしい?

…そんなときは、まず磁石ワンドでリセット!**POINT!!**

例えばプログラムモードでいろいろな設定をしているうちに機関車の動きがおかしくなったり、どんな設定変更をしたのかわからなくなったり…カンタム・エンジニアを使いこんでいくとそんな局面を迎える場合があります。もしかしら故障?…そんなときはまず磁石ワンドを使ってリセットをかけてみてください。カンタム・システム搭載の車輌はマグネットスイッチが付いており、磁石ワンドを近付けた状態でパワーバックの電圧をゼロから起動電圧まで上げると機関車から『リセット!』の音が聞こえます。せっかく設定した内容は消えてしまいますが、工場出荷時の設定に戻り、元のように動き出すことでしょ。…故障かな?と思ったら、まずリセットを試してください。
※ マグネットスイッチの取付位置は車種により異なります。それぞれの製品の取扱説明書をご覧ください。
※ リセットをかけても正常に戻らない場合は、お買い求めのいただいたお店に当社までご相談ください。
※ カンタム・エンジニアのプログラム機能でもリセットできます。



蒸気機関車のマグネットスイッチは tender 内上面にあります。



カンタム・システムを使い倒そう!



カンタム・エンジニア™ クイックガイド

カンタム・システムとは…

今まで DCC (デジタル・コマンド・コントロール) や専用システムを用いる場合のみ操作が可能だったサウンドや灯火類といったギミックを従来のアナログ・パワーバックでも制御できるシステムです。停車状態からライトが点灯するだけでなく、任意に汽笛等を鳴らすことができます。走行音はパワーバックのスロットル操作に応じてリアルに変化します。



● キハ58系

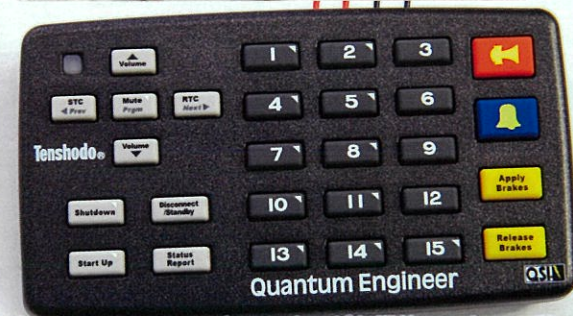


● D61形

● DD51形(842号機 お召)



● EF58形



カンタム・システム専用アナログ多機能コントローラー
カンタム・エンジニアS

CHECK!!

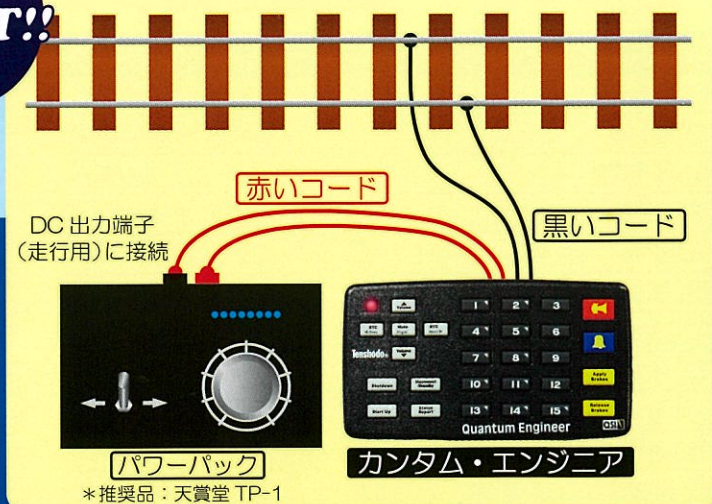
更にカンタム・エンジニアを使うと…

汽笛やATS警報音の操作がボタンひとつで行えて、走行・停車状態に関わらず前照灯・尾灯等の灯火類をON/OFFできます。汽笛、ATS警報以外の音の任意操作や音量の調整も可能です。また、プログラム操作により様々なカスタマイズもできます。

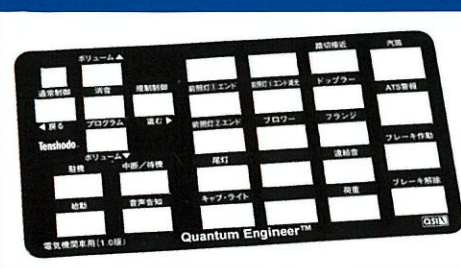
配線は簡単! パワーバックと線路の間につなぐだけ **POINT!!**

カンタム・エンジニアからの配線コードは赤2本と黒2本の計4本。赤いコード群はパワーバックへ。黒いコード群は線路のフィーダーへ。これで配線は完了です。
※ コネクター等の加工が必要なパワーバックや線路もあります。

カンタム・エンジニアの配線略図



カンタム・システム搭載車に共通で使用可能!



カンタム・エンジニアは蒸機・電機・ディーゼル問わず共通で使用できます。機種毎に異なる機能は、対応のテンプレートで一目瞭然。

! 直流2線式用のパワーバックでも、容量の小さいもの、特殊な電流を使用しているもの、安全装置が敏感に反応するもの等、カンタム・システムには使用できないものがあります。詳しくは製品の取扱説明書等をご覧ください。

カンタム・システムの機能を余すことなく引き出す多機能コントローラー

『カンタム・エンジニア』

POINT!!

十字ボタンは2つの機能
十字ボタンと呼ばれる5つのボタンには、ふつうの運転時に使う機能の他、プログラムモードで使用できる機能があります。

運転時モードでは…

- ・STC（通常制御）とRTC（規制制御）の切り換え機能
- ・メインボリュームの調節と消音

※プログラム・モードは右下を参照ください。

STC（通常制御）とRTC（規制制御）

STC は一般的なアナログ制御と同じくパワーバックの電圧変化でダイレクトに機関車の速度をコントロールするモードです。RTC は、実車さながらのリアルな加減速を実現したカンタム・システム特有のモードです。

初期設定では RTC になっています。またカンタム・システムを搭載している車輛は起動電圧が高いため STC モードの場合、低速の調整がやや難しくなります。

駐機

機関車の機能を徐々に休ませてシャットダウンの状態にします。ボタンを2回押した場合『長い駐機』になります。『長い駐機』は機関車が入庫し機関や装置が徐々に OFF となり、乗務員が降車するようなプログラムがなされています。

始動

駐機や中断状態から再起動させるのが始動ボタンです。駐機状態の機関車で始動ボタンを2回押すと『長い始動』になります。『長い始動』は乗務員が運転席に乗り込み機器類を徐々に動かし出区するようなプログラムがなされています。

POINT!!

主灯(前照灯)・尾灯(標識灯)・キャブライツ(室内灯)・電暖表示灯…あらゆる灯火類の ON/OFF が任意で操作可能に！

ブローア・換気 / 冷却扇・アイドリング・発電機・扉開閉
投炭・ドレイン…等々、リアルな補器類の音を模型から再現！

*搭載されている機能は製品毎に異なります。左下の表を参照ください。

減光機能
主灯(前照灯)点灯中に1回押すと減光します。2回押すと元の明るさに戻ります。*一部対応していない製品があります。

踏切接近
列車の接近を知らせる汽笛が数回鳴ります。*車種により鳴り方が異なります。*EF64形はタイフォンが鳴ります。

汽笛
押している間、汽笛が鳴り続けます。

ドブラー効果
汽笛ボタンを押している間にこのボタンを一度押すと、汽笛ボタンを離れた後、ドブラー効果が生じます。

ATS 警報
一度押すと警報音が鳴り始め、もう一度押すと鳴り止みます。

フランジ音
急曲線等で発生する線路の軋り音が一定時間鳴ります。

連結器音
停車中と走行中で音が異なります。

POINT!!

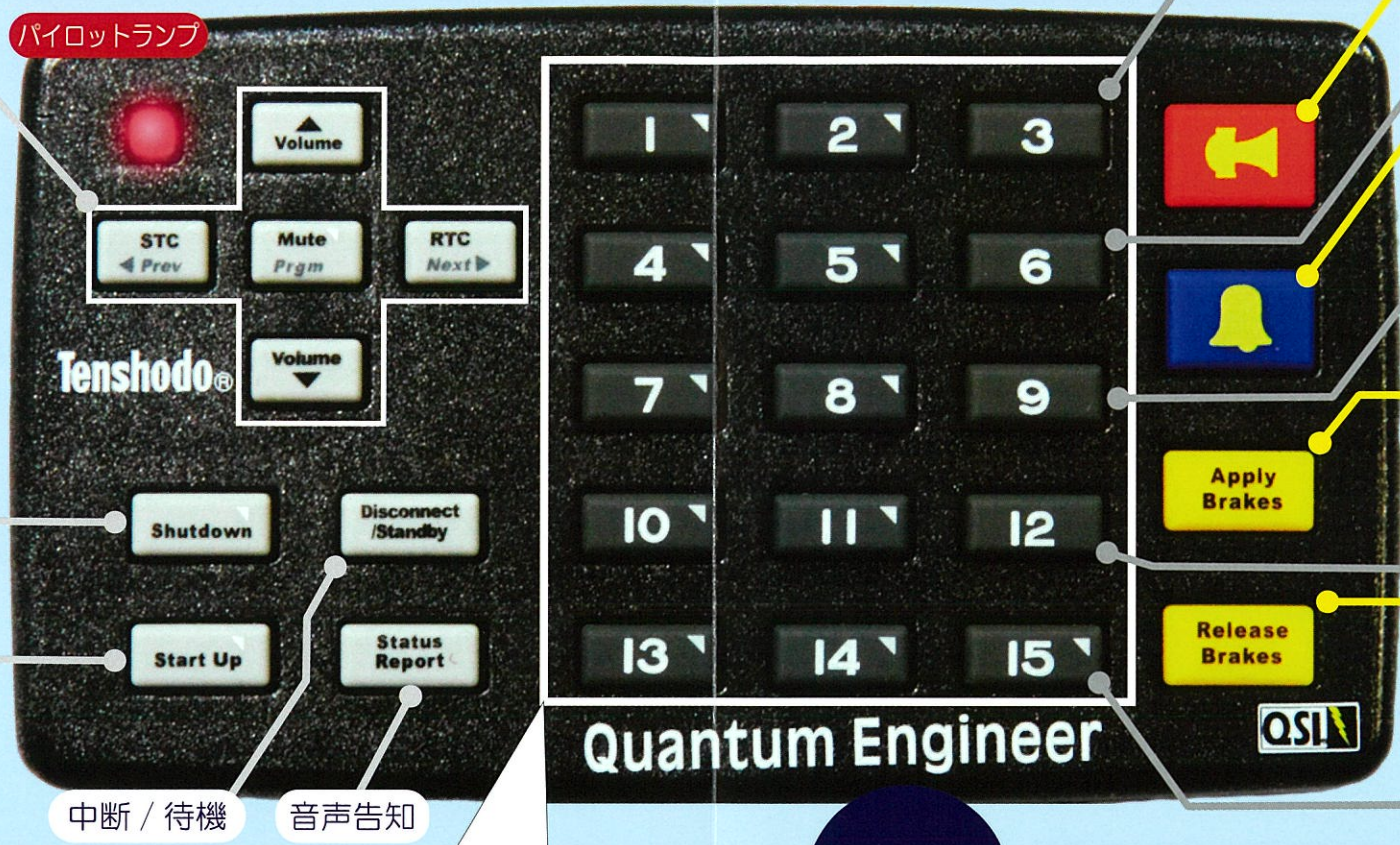
荷重
あたかも重量のある列車を牽引している、または急勾配を上っているかのように、機関車が唸り、加速が鈍くなります。停車中と走行中では得られる効果が異なります。

POINT!!

右上に三角形のマークが付いているボタンは…
1回押すと機能が ON に、2回押すと OFF になります。
※駐機と始動ボタンを除く。

ブレーキ作動
線路上の電圧を可変させずに速度を下げる事ができるボタン。ボタンを長く押し続けているとブレーキ力が強くなり、短い時間(距離)で停車します。*RTC の場合のみ

ブレーキ解除
ブレーキ作動ボタンによる減速・停止を解除するボタンです。ボタンを長く押し続けている分、高加速となります。停止状態から動き出すときブレーキの解除音がします。*RTC の場合のみ

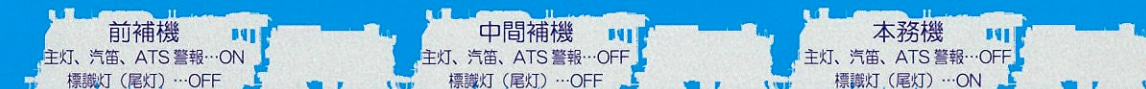


製品別 カンタム・エンジニア対応機能一覧

CHECK!! プログラム・モードって何が出来るの?

荷重量の調整、音声毎の音量調節等ができます。また重連やブッシュプル運転時、連結位置によって異なる機能の ON/OFF を設定できます。

例えば三重連で正方向に走る場合…



プログラム・モードへは…

十字ボタンの中心のボタン (Mute/Prgm) を押しながらパワーバックの電圧をゼロから起動電圧まで上げると機関車から『エンター・プログラミング』、続いて『オプション・ワン』と声がしてプログラム・モードに移行します。

※プログラム設定を行う場合は必ず製品添付の取扱説明書をお読みください。

*このクイックガイドはカンタム・システムおよびカンタム・エンジニアの機能を一部抜粋したものです。ここに掲載されていないボタンの説明は製品の取扱説明書をご覧ください。また機能割り当てや項目は製品により異なりますので、予めご了承ください。

POINT!!

製品名	キー番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	テンプレート
D51形 半流型					主灯	主灯減光		後部主灯	ブローア								SL 1.0
DD51形					前照灯①エンド	前照灯①エンド減光		前照灯②エンド	換気 / 冷却扇		尾灯						DL 1.0
D51形 標準型					主灯	主灯減光		後部主灯			テンドー標識灯						SL 2.0
EF58形					前照灯①エンド	前照灯①エンド減光		前照灯②エンド	ブローア		尾灯			キャブライツ			EL 1.0
C62形					主灯	主灯減光		後部主灯			テンドー標識灯						SL 2.0
DD51形 (2011年)					前照灯①エンド	前照灯①エンド減光		前照灯②エンド	換気 / 冷却扇		尾灯						DL 1.0
キハ52形 0番代		客室扉開閉音			前照灯前位			前照灯後位			尾灯前位	尾灯後位		室内灯			DC 1.0
EF58形 (2013年)			電暖表示灯										ブローア	フランジ		連結音	EL 3.0
EF64形 0番代		入換表示灯		タイフォン	前照灯①エンド	前照灯減光		前照灯②エンド	主電動機ブローア		尾灯①エンド	尾灯②エンド		キャブライツ	揺籠器ブローア		EL 4.0
EF66形 0番代									ブローア					キャブライツ	キャブライツ		EL 2.0
C62形 (2014年)					主灯	主灯減光		後部主灯			テンドー標識灯			キャブライツ	絶気		SL 4.0
キハ58系	前面表示幕	客室扉開閉音			前照灯	前照灯減光			冷房用発電機		尾灯			室内灯	アイドリング音		DC 2.0
D51形 標準型 (2015年)	投炭音	ドレイン													絶気		SL 5.0
D52形 (真鍮製)					主灯	主灯減光		後部主灯	ブローア		テンドー標識灯			キャブライツ			SL 2.0
C62形 (真鍮製)												前部標識灯*					SL 3.0

※機能が搭載されていないタイプもございます。

付属しているテンプレートのバージョンです。↑